

# みらいのまち創造委員会

委員長 永井 崇 敦  
副委員長 木脇 大 元  
委員 浅井 齊 ・ 小田 宗 寛 ・ 川内 賢 幸  
瀬戸山 純 之 ・ 富 永 聡 ・ 水久保 誠

## 【基本方針】

平安時代より「島津荘」として発達した都城圏域は、全国有数の食肉畜産地帯であり、竹弓、ごま、ゆず、芋焼酎の生産も盛んです。また、各地で都市整備計画が策定され、新たなまちの全容も明らかになりました。しかし、超高齢化や人口流出が現状のまま推移すると、25年後には人口が約3割減少し、経済の低迷は避け難く、圏域の未来を見据え、魅力ある地域を創造していく必要があります。

まずは、「新5ヵ年アクションプラン」について、現状に即した運動を幅広く展開する為に、広域連携を主とした追加項目として、圏域の観光マネジメントやマーケティングを行政、事業者、市民の間で一体化する組織の設立及び東九州新幹線の誘致を盛り込み、この地域に人が訪れる仕組みを確立します。また、地域経済分析システムを用いて地域の現状を分析し、現状に即した新たなまちづくりの目的、手法を提言することにより、このまちの特徴を生かした自律的で持続的な社会の創生を促進します。その上で、追加項目を、外部の意見とともに新たな圏域の未来を創造する例会において発表します。さらに、圏内外の市民に地域の魅力を広くアピールし、圏域を活性化させる為に、2015年度に初めて実施された「肉と焼酎のふるさと・都城花火大会」を、行政及び関連団体と緊密に連携し、地域活性化事業として本年度も継続して実施します。そして、青年会議所が一丸となって取り組むことで、花火大会を公益事業の中核として確立します。また、「島津発祥まつり」へ参画し、まつりに参加した市民の郷土愛を育み、歴史の魅力を外部に発信します。

広域連携を主とした具現性のあるアクションプランに基づく運動が展開されることにより、圏域の市民はもとより圏外の市民にもこの地域の溢れる魅力が広まり、地域経済が活性化されることによって、地方創生を促進し、都城圏域の豊かな未来を明るく照らします。

## 【事業計画】

1. 新たな圏域の未来を創造する例会の実施
2. 肉と焼酎のふるさと・都城花火大会の実施
3. 広域連携を主とした新5ヵ年アクションプランへの追記項目の検討
4. DMO設立連絡協議会の実施
5. 学び舎としての規律ある組織風土の再構
6. 島津発祥まつりへの共催事業としての実施
7. サマーコンファレンス「横浜」への参加企画
8. 公益・共催事業への参画
9. 日本J C、九州地区協議会、宮崎ブロック協議会への協力、支援
10. 出向者への協力支援
11. 会員拡大3名以上

## 【予 算】

1. 新たな圏域の未来を創造する例会（公益の事業費）	186,000円
2. 肉と焼酎のふるさと・都城花火大会（公益の事業費）	12,788,000円
3. DMO設立連絡協議会（公益の事業費）	19,000円
4. 島津発祥まつり（公共の事業費）	2,500,000円
合 計	15,493,000円